

名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻 建築学コース  
パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校（フランス）  
天津大学（中国）

2014 年度合同建築・都市設計ワークショップ

## Station Area Redevelopment for Urban Revitalization and Disaster Mitigation 成果発表会

PARIS  
VAL DE  
SEINE  
ÉCOLE NATIONALE SUPÉRIEURE  
D'ARCHITECTURE

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースでは、2014年4月14日(月)から4月18日(金)までの5日間、名古屋大学環境総合館・ES総合館を会場に、パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校（フランス）と天津大学（中国）と合同で、「都市の活性化と減災に向けた駅を中心とする市街地の再整備」について調査・提案する建築・都市設計ワークショップを開催します。本ワークショップは、パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校の大学院生（11名）、天津大学（1名）及び名古屋大学建築学コースの大学院生（計画系・環境設備系・構造系）を対象とするものですが、最終日の成果発表会は一般公開しますので、是非、ご来場下さい。

日時 : 2014年4月18日(金) 16:30~18:00 (開場 : 16:00)

場所 : 名古屋大学環境総合館 1階レクチャーホール  
<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/contact/map.html>

使用言語 : 英語 (通訳なし)

問合先 : 名古屋大学大学院環境学研究科 小松 尚 (E-mail : [c42719a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:c42719a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp))

その他 : 参加無料、事前申込不要

### 2014 年度ワークショップの概要

#### ■目的

本ワークショップは、名古屋大学建築学コースとパリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立建築学校（ENSA-PVS）と天津大学の修士課程学生を対象に、異なる文化的背景を持った学生同士がコミュニケーションを取りながら、一つの提案をまとめる機会を提供するものです。昨年に引き続き、駅周辺の市街地における居住機能の充実と都市機能の強化、活性化、減災をテーマに、名古屋市営地下鉄桜通線の鳴海北・相生山駅周辺地区（駅そば生活圏）に対する建築・都市デザイン提案を検討します。なお、このワークショップは名古屋大学と ENSA-PVS の間で締結された学術交流協定に基づいて実施されます。

#### ■対象と求められる内容

2010年に策定された名古屋市の都市計画マスタープランは、公共交通の駅周辺における居住機能の充実と都市機能の強化を目指しています。名古屋市内には異なる物理的特徴を有した様々なタイプの地域が存在しますが、地域の活性化や減災を推し進めるためには、各地域の特性に応じた地区スケールの計画が重要となります。参加学生は5つのグループに分かれ、導入講義の後、鳴海北・相生山駅周辺の対象地区を現地踏査した上で、建築・都市デザイン提案に向けた協働作業を行います。

#### ■担当教員

- ・ Boris Weliachew, Marc Dilet (ともに、パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校・教授)
  - ・ 鄭 穎 (天津大学建築学院建築学系 中国文化遗产保護国際研究中心・副教授)
  - ・ 小松 尚 (名古屋大学大学院環境学研究科・准教授)、高取 千佳 (同助教)
  - ・ 村山 顕人 (東京大学大学院工学系研究科・准教授)
- (本ワークショップは、この他、名古屋大学建築学教室の全教員の協力を得て実施されます。)

### 2013 年度ワークショップの様子

(過去の取り組み : <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130429/index.html>)

